



としょかんひろば

本と出会い、人と出会い、仲間が生まれる図書館 2020年5月 第228号
Books are for all 東近江市立永源寺・愛東・湖東図書館

** 図書館カレンダー **

■はお休み（第4金曜日は原則整理休館日）

永源寺
愛東

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

湖東

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

6月23日～26日
蔵書点検のため
休館します

** おしらせ **

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
5月10日（日）まで臨時休館の予定です。

延長する場合は図書館ホームページなどでお知らせします。
また、5月の行事（映画会ほか）は中止しています。6月以降、再開する場合は館内の掲示などでお知らせします。

** ごぞんじですか **

インターネットで、図書館の資料を検索したり
本や雑誌のバックナンバーを予約することができます。
右のQRコードから、図書館ホームページにアクセス
してみてください。

※予約には図書館で発行するパスワードが必要です

各館の開館時間・連絡先

永源寺図書館 開館：10時～18時
tel:0748-27-8050 IP:050-5801-8050
fax:0748-27-8090

愛東図書館 開館：9時～17時
tel:0749-46-2266 IP:050-5801-2266

湖東図書館 開館：10時～18時
（木曜日のみ20時まで）
tel:0749-45-2300 IP:050-5801-2300
fax:0749-45-3343

図書館ホームページ→



あたらしくはいった本 (永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します)

くらし・健康

世界から消えゆく場所	トラビス・エルボラフ／著	日経ナショナルジオグラフィック社
大動脈瘤と大動脈解離がよくわかる本		講談社
心の傷を癒すということ 新增補版	安 克昌／著	作品社
薬剤師になるには	井手口 直子／編著	ペリかん社

『 がんでも歩こう！ キャンサージャーニーを豊かにする運動のすすめ 』

大島和也・岩瀬哲／編著 日経メディカル開発

2人に1人はがんにかかる、と言われる現代。完全に治すことは難しくても、制御できるがんが増えてきたことで「がんとともに生きる」時間を長く持つ人が増えてきました。そんな時間＝キャンサージャーニー(cancer journey,がんの旅路)をよりよく生きるため、欠かせないのが「歩ける」こと。外出したり趣味を楽しんだりすることはもちろん、「歩いてトイレに行ける」ことは、住み慣れた自宅で過ごすため特に重要です。運動・食事・痛みのコントロール、住まいの工夫など、医療者や家族と手をとりあって、がんがあっても豊かな人生を送りましょう。



エイジレスではけるウエストゴムのスカート&パンツ		ブティック社
着せる女	内澤 旬子／著	本の雑誌社
青木和子の刺しゅう北欧ノート	青木 和子／著	文化出版局
大人の春夏素敵なおニット		ブティック社
ネットに編みつけて作るエコアンダリヤの使いやすいバッグ		アップルミンツ
浜内千波の太らないおかず 完全版	浜内 千波／著	主婦と生活社
沢村貞子の献立料理・飯島奈美	飯島 奈美／著	リトル・モア
まさかの弱火中華	水島 弘史／著	ワニ・プラス
京都の極上弁当	松本 希子／著	淡交社
親に寄り添う、実家のちょうどいい片づけ	Emi／著	白夜書房

社会・教育・福祉

もっと知りたい薬師寺の歴史	藤岡 穰／(他)著	東京美術
空海の哲学	竹村 牧男／著	講談社
日本史を学ぶための図書館活用術	浜田 久美子／著	吉川弘文館
子どもたちに語る日中二千年史	小島 毅／著	筑摩書房
椿井文書	馬部 隆弘／著	中央公論新社
甲賀忍者の真実	渡辺 俊経／著	サンライズ出版



『 アドラーに学ぶ70歳からの人生の流儀』 岩井俊憲／著 毎日新聞出版

アドラー心理学の第一人者である著者が、自らも70歳を越え、人生の「後半戦」を楽しく生きるコツを説いています。「老いの呪い」「過去のしがらみ」の解き方から友人関係、家族、夫婦関係のモヤモヤ解消まで。70代を人生の「下山」や「終活」の時期ととらえるのではなく、いつまでも人生の「現役」、日々感動しながら年齢なりの「生涯青春」を全うするために……朗らかに健やかに年を重ねていくヒントが満載です。

ベストセラーで読み解く現代アメリカ	渡辺 由佳里／著	亜紀書房
ファシズムはどこからやってくるか	ジェイソン・スタンリー／著	青土社
AI×地方創生	広井 良典／(他)著	東洋経済新報社
裁判官も人である	岩瀬 達哉／著	講談社

労働組合やめろって警察に言われたんだけどそれってどうなの？(憲法28条があるのに…)	連帯ユニオン／編	旬報社
上野先生、フェミニズムについてゼロから教えてください！	上野 千鶴子／著	大和書房
かくされてきた戦争孤児	金田 茉莉／著	講談社
先生も大変なんです	江澤 隆輔／著	岩波書店
園児と楽しむはじめてのおもしろ実験12ヵ月	川村 康文／著	風鳴舎
保育園・幼稚園のちょっと気になる子	中川 信子／著	ぶどう社
ことば力と思考力	今井 むつみ／著	筑摩書房

自然・ビジネス・産業

MMT(現代貨幣理論)のポイントがよくわかる本	中野 明／著	秀和システム
新しい転職面接の教科書	福山 敦士／著	大和書房



『写真と言葉で刻む生老病死そして生 限りがあるからみんなでつなぐ』 國森康弘／著 農山漁村文化協会

幼い命、年老いた命。世界のあちこちで、限られた命を精いっぱい生きる人々。本書は著者がこれまで出会った人々の写真から、今世に刻まなければならないと感じたものを選び、そこに胸の底から湧き出る言葉を添えた写真集です。生の裏側には必ず死があります。世界中の誰もが「あたたかい死」を迎えられる世の中であってほしい。著者の切実な願いが伝わってきます。

食・農・環境とSDGs	古沢 広祐／著	農山漁村文化協会
半農半林で暮らしを立てる	市井 晴也／著	築地書館
ブドウの作業便利帳 新版	高橋 国昭／著	農山漁村文化協会
コンビニチェーン進化史	梅澤 聡／著	イースト・プレス
日本のロゴ・マーク50年	日本タイポグラフィ協会／編	パイ・インターナショナル
リアル宅配便日記…毎日こんなことが起こってます！！	ゆきた こーすけ／著	KADOKAWA
派遣添乗員ヘトヘト日記	梅村 達／著	三五館シンシャ

芸術・趣味

東京のかわいい看板建築さんぽ	宮下 潤也／著	エクスナレッジ
「100円ショップ」のガジェットを分解してみる！	ThousanDIY／著	工学社
DIY収納の作り方&アイデア		学研プラス

『バーナード・リーチとリーチ工房の100年』 加藤節雄／著 河出書房新社



バーナード・リーチは1887年生まれの人。柳宗悦をはじめとする当時の白樺派の人々と交流を深め、柳の提唱する「民芸運動」へと傾倒しました。有名なアーティストやデザイナーによる作品より、無名の工芸作家が作り出すシンプルなデザインにこそ価値があるとする運動です。帰国したリーチは日本式の陶芸制作を広めました。この本には、英国のセントアイヴスにある工房の様子や、晩年のインタビューなどが載っています。「(私たちが)戦ってきたのは、機械文明の時代における手作りの再評価ということだった。しかし、今の日本は物質文明に押し流されているところはないだろうか。西洋の人が手作りの文化に憧れて、東洋を目指しているときに、逆に日本では西洋の機械文明に波に洗われているのではないだろうか」そう語ったリーチの作品は、永源寺のヒトミワイナリー横の日登美美術館で見ることができます。

画家とモデル	中野 京子／著	新潮社
アクセサリ作りのためのレジンの教科書 新装版		河出書房新社
あじろ編みの模様であそぶクラフトバンドのバッグとかご	松田 裕美／著	誠文堂新光社
レグレシピいろんなペット	ケビン・ホール／著	玄光社
世界の名門オーケストラ	「音楽の友」&「レコード芸術」／編	音楽の友社

1冊まるごと、松之丞改め六代目神田伯山
40代からでも波に乗れるはじめてのサーフィン

パンブックス編集部／編
市東 重明／著

CCCメディアハウス
KADOKAWA

ことば・文学・小説

通訳というおしごと

話すチカラ

太宰を読んだ人が迷い込む場所

関根 マイク／著

安住 紳一郎／著

齋藤 孝／著

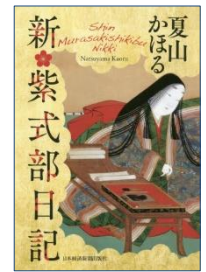
アルク

ダイヤモンド社

PHP研究所

『新・紫式部日記』 夏山かほる／著 日本経済新聞出版社

後の紫式部、小姫は漢籍に親しむ文学少女。父の失脚、夫との死別などめまぐるしい人生を過ごしながらも、幼い頃から書き綴ってきた物語は評判となっていました。やがて主の藤原道長から物語を書き継ぐ女房となり藤式部と名乗るよう命じられます。恵まれた環境の中、精力的に物語を執筆し、さらに、道長の長女で入内した中宮彰子に仕えるようになりますが……「そなたの物語には宮中での役目がある」と言われ、宮中に渦巻く陰謀に巻き込まれていきます。



『茶聖』 天下人に仕えながら何故非業の死を遂げたのか。茶の湯を極めた千利休の謎

伊東 潤／著 幻冬舎

『よその島』 離島へ移住した70代の夫婦と友人の小説家。3人は秘密を抱えていた

井上 荒野／著 中央公論新社

『木になった亜沙』 芥川賞受賞作家がおくる、奇妙でうつくしい3つの物語

今村 夏子／著 文藝春秋

『楡の墓』 開拓時代の北海道。骨を埋めると決めた者、去る者……新時代を描く5編

浮穴 みみ／著 双葉社

『トロイの木馬』 バブル期に結成した詐欺師チームも今や老人。リーダーは認知症で

江上 剛／著 朝日新聞出版

『今日も町の隅で』 誰しも「選択」をする。まちの隅で光を放つ男女の物語10編

小野寺 史宜／著 KADOKAWA

『三年長屋』 河童のまつられるその長屋に暮らす者は、3年ほどで大成するという

梶 よう子／著 KADOKAWA

『罪人の選択』 人気ホラー作家、デビュー直前から初期の作品を集めた短編集

貴志 祐介／著 文藝春秋

『天稟』 米問屋から出世した山種証券創設者の人生を軸に、戦後財政の真実を描く

幸田 真音／著 KADOKAWA

『私たちの望むものは』 NYで亡くなった美しい叔母。たった一つの秘めた恋を残して

小手鞠 るい／著 河出書房新社

『ダーク・ブルー』 深海でシージャック犯と二人きり!? 蒼く暗い海底で生死を賭ける

真保 裕一／著 講談社

『女神のサラダ』 土の匂い、太陽の光、人との絆。農業にかかわる女性たちの物語

瀧羽 麻子／著 光文社

『図書館のバシラドール』 急がば回れ。『図書館のピーナッツ』『キリギリス』続編

竹内 真／著 双葉社

『希望のゆくえ』 弟が放火の容疑者と姿を消した。兄は弟を知る人々に会いにゆくが

寺地 はるな／著 新潮社

『北条氏康 二世継承篇』 偉大なる早雲を祖父に持ち、少年は一族の悲願を背負う

富樫 倫太郎／著 中央公論新社

『夜がどれほど暗くても』 週刊誌編集者がスキャンダルを追う立場から追われる側へ

中山 七里／著 角川春樹事務所

『サムのこと、猿に会う』 世の中の少し端っこ、人生の踊り場のような瞬間。初期の3編

西 加奈子／著 小学館

『できない男』 28歳、恋愛ゼロ、仕事も冴えない。33歳、有能、恋愛に覚悟はない。

額賀 滯／著 集英社

『天下取』 武田、今川、北条。同盟のために政略結婚をさせられた戦国の姫たち

村木 嵐／著 光文社

『あたしの拳が吼えるんだ』 邪な理由でボクシングを始めた小学生が周囲を変える

山本 幸久／著 中央公論新社

『暴虎の牙』 昭和57年、戦後の闇は博徒の間に残っていた。「孤狼の血」シリーズ完結編

柚月 裕子／著 KADOKAWA

『不屈 山岳小説傑作選』 井上靖、夢枕獏、熊谷達也……厳しく豊かな山の世界

北上 次郎／編 山と溪谷社

『ねこだまり 〈猫〉時代小説傑作選』 宮部みゆき、西條奈加など、珠玉の女性作家たち

諸田 玲子／(他)著 PHP研究所

『旅ごはん』 ヨーロッパから日本まで。おいしいひと皿には、忘れられない人との出会い

小川 糸／著 白泉社

『いつでも母と』 九十一歳の母を自宅で看取った。いくつもの後悔、色あせない思い出

山口 恵以子／著 小学館

『息吹』 「千夜一夜物語」の枠組みを用いたタイムトラベルなど、珠玉のSF9編

テッド・チャン／著 早川書房

『コピーボーイ』 吃音のあるヴィクターの忘れられない夏。『ペーパーボーイ』続編

ヴィンス・ヴォーター／著 岩波書店

「大活字本」あります

通常より大きなサイズやくっきりした線の文字で印刷された本もあります。どうぞご利用ください

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。